

小5国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 84.4%

ねらい：漢字の正しい読み書きがしっかりとできているかを問う。

分析と対策：特に書きにおいて、点の向きや、トメ・ハネなどに注意しましょう。

2 部首 65.0%

ねらい：部首の形と名前がきちんと覚えられているかを問う。

分析と対策：まずは、漢字のどの部分が部首かということを確認めることが大切です。部首には大きく七種類あることも確認しておきましょう。

3 同音・同訓異字 58.1%

ねらい：よく出題される同音異義語や同訓異字について、文脈からどの漢字を使うのがふさわしいかを見分ける力を問う。

分析と対策：漢字の読み方だけにこだわらず、文脈からふさわしい漢字を考えることが大事です。(1)の同訓異字を考える場合は、「風邪をなおす」とときには「治療」のように、熟語を考えてみることで判断できる場合もあります。

4 つなぎことば 92.8%

ねらい：前後のつながりから、適切なつなぎことばを選択する力を問う。

分析と対策：空欄の前後を見て、どのようなつながりになっているかで接続語を判断します。前の内容の当然の結果が後に来れば順接（それで、だから、他）、逆の内容が後に来れば逆

接（しかし、ところが、他）など、代表的な接続語については、そのはたらしきもふくめて頭に入れておく必要があります。

5 詩と鑑賞文の読み取り 51.1%

ねらい：詩の表現や内容を理解し、味わう力が身についているかを問う。

分析と対策：小泉周二作「海とおれ」とその鑑賞文からの出題です。成長とともに育まれた海への畏敬の念や親愛の情が、飾り気のない言葉でストレートに伝わってくる詩です。鑑賞文も参考にして、詩の表現の工夫を味わいながら、内容を正しく理解することが求められます。

6 物語の読み取り 43.3%

ねらい：物語の場面を理解し、会話や動作から、登場人物の気持ちを読み取ることができているかを問う。

分析と対策：東京に住む海斗が、北海道に住む夏樹を訪ねて語り合い、ほかの土地へのあこがれについて思いをはせる話です。(1)～(3)は心情把握、(4)は比喩表現の理解、(5)では動作を表す表現から心情をつかみます。(6)は指示語の指す内容を離れた箇所からとらえる必要があります。(7)は暗喩をつかみ、(8)は登場人物についての理解を問うことで、文章全体の理解を確認します。

全体の平均点は 64.4 点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。